

2012年2月3日

佐川グローバルロジスティクス株式会社
トライネット・ロジスティクス株式会社

佐川グローバルロジスティクスとトライネット・ロジスティクスの業務提携について

～安定したリードタイムで海外工場から国内エンドユーザーまでのワンストップサービスを提供～

佐川グローバルロジスティクス株式会社(本社:東京都品川区、社長:上岡亨、以下「佐川グローバル」)とトライネット・ロジスティクス株式会社(本社:東京都中央区、社長:信岡正章、以下「トライネット・ロジスティクス」)は、2012年2月2日にトライネット・ロジスティクスが展開する市原IMT(インターモーダルターミナル)を活用した物流サービスに関する業務提携基本契約を締結致しました。

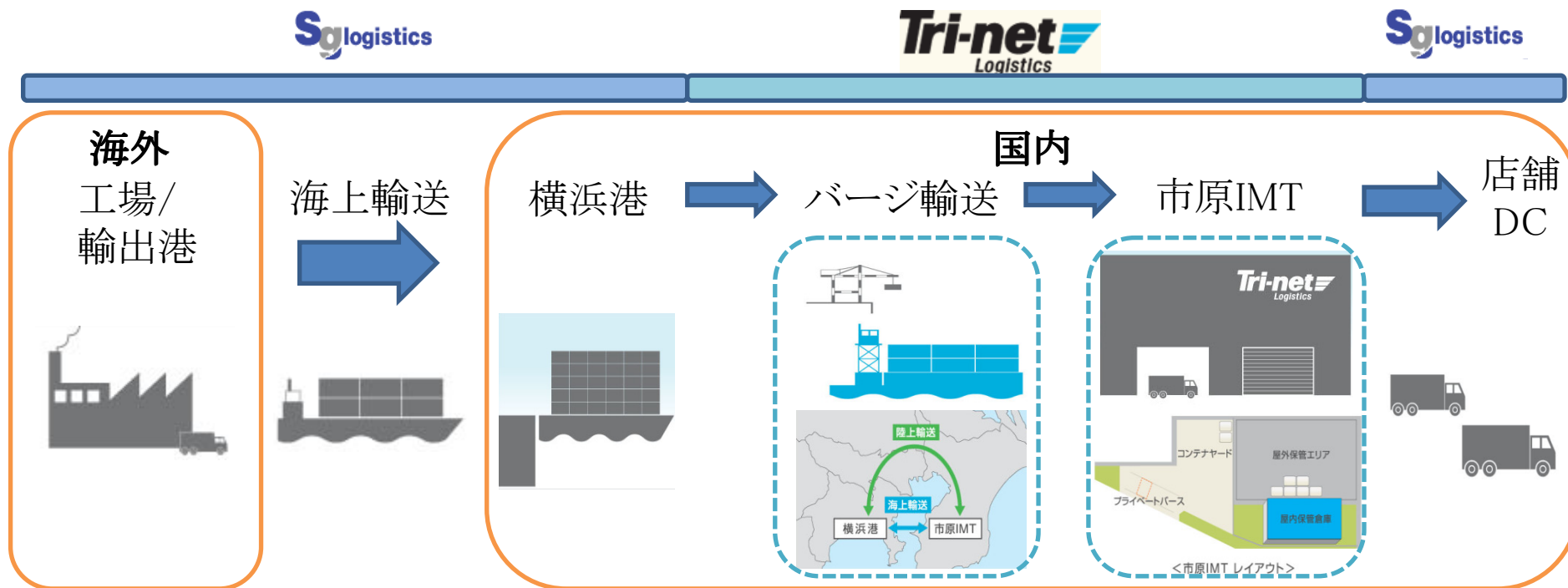
市原IMTは千葉県市原市に建設された敷地面積3万坪の総合物流センターで、ガントリークレーンを備えたプライベートバース&コンテナヤード、延べ床1万坪の倉庫、9,000坪の屋外保管場を有する複合ターミナルです。また、市原IMTと横浜港間において、片道2時間で最大84FEU(40フィートコンテナ換算個数)の海上輸送が可能なコンテナバージが運行されており、コンテナ搬出入時の渋滞解消とリードタイムの安定化、及び、環境負荷の低いグリーン物流を実現しております。佐川グローバルとトライネット・ロジスティクスはそれぞれのサービス融合を通じ、TC(Transfer Center)機能を付加した市原IMTの活用を中心として、海外工場から国内エンドユーザーまでのワンストップサービスを構築することを目標に共に取り組んで参ります。

* サービス内容は添付資料参照

佐川グローバルは佐川急便を中核とするSGホールディングスグループにおいてロジスティクス事業を担っており、国内外に物流拠点54か所を設け、グローバルな領域にて生産拠点から販売店までの物流全体を最適化するロジスティクスソリューション・ノウハウを持っております。トライネット・ロジスティクスは国内に保管配送ネットワークを構築しており、「Logistics For Tomorrow」というスローガンの下、モーダルシフトをテーマに設立した市原IMTなど、時代や環境に応じた新しいロジスティクス機能の提供を通じてお客様の満足度向上を追求しております。

両社はお互いのノウハウを融合させ、市原IMTを起点とした物流サービスの構築に協働して取り組み、今後もお客様のニーズにお応えして参ります。

業務提携における各社役割とサービス内容



- ✓モーダルシフト・広大な荷捌き地(3万坪)→リードタイムの安定化
- ✓海外工場から国内エンドユーザーまでのワンストップサービス
- ✓バージによる横浜港・市原間の大量輸送→グリーン物流の実現